

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称
776	有害鳥獣駆除事業		01	一般会計	
42	持続的で個性的な農林業を实践する		06	農林業費	
			02	林業費	
			02	林業振興費	
			102	有害鳥獣駆除事業	
			01	有害鳥獣駆除事業	
担当部課名	大山田支所産業建設課		細目	102	有害鳥獣駆除事業
作成者氏名	廣田 稔	連絡先	47-1157	細々目	01

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
農作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除し、農作物等の被害の軽減を図る 野猿被害のある農地・農家		野猿の捕獲により農作物への被害軽減行う
本年度事業内容	野猿捕獲報償費 30,000円×25頭=750,000円 野猿捕獲檻管理業務委託料 120,000円×6箇所=720,000円 原材料費 100,000円	
開始年度	平成 年度	終了年度
平成 年度	根拠法令・要綱等	支所関係補助金等交付要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.1	0.1
人件費合計(A)	1,440	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,844	1,600	1,600
委託料	1,391	720	720
報償費	690	750	750
その他		130	130
合計(A+B)	3,284	2,320	2,320
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,284	2,320	2,320
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
捕獲野猿数	匹	23	25	25			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
野猿捕獲数	個体の減が被害の軽減につながる	匹	23 目標 (25)	25	25
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

野猿については大山田地域のみにとどまらず、伊賀市全域に被害が及んでおり、今後、伊賀市全体で捕獲等について検討しなければならない。なお、捕獲檻管理業務については、継続して設置の必要性があります。

評価	必要性	4	拡大 事業内容の拡充、事業費の増大	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		